

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1001 作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 聖火ランナーの選考方法について把握している情報及び今後の広報に関する意気込みはどうか。

答弁要旨

兵庫県の聖火ランナーの募集につきましては、8月末に締め切られ、27人の公募人数に対し、約225倍の6,070人の応募がございました。今後、兵庫県実行委員会において、応募動機や各市町との関係性などをもとに候補者が選定され、10月末にオリンピック組織委員会に推薦されることとなっております。

また、市民への広報につきましては、今回の兵庫県の聖火ランナーの募集においても、公共施設へのポスターの掲示やチラシの設置のほか、市報やホームページへの掲載などを行ったところでございます。今後も、本市の聖火リレーの実施に向け、市民への情報提供を積極的に行うことで、機運の醸成に努めてまいります。

以上

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1002 作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 スポーツ推進課が連携を密にしようとしている関係部署はどこか。また、機運醸成のための取組の検討状況はどうか。

答弁要旨

本市における聖火リレーの成功のためには、ランナーや観客の安全面、市の魅力発信の面、そして、幅広い市民参加の面などから、広報、観光、商業といった市の関係部署のみならず、警察・道路管理者やスポーツ関係団体などと十分に連携を図りながら、取り組んでいるところでございます。

また、東京オリンピックの開催や本市での聖火リレーの実施に向けた機運醸成につきましては、市民まつりやスポーツのまち尼崎フェスティバルなどのイベントでPRすることなども予定しており、引き続き、機会をとらえて、更なる機運の醸成を進めてまいります。

以上

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1003 作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 聖火リレーが行われるタイミングに合わせた市独自のイベントについて、どのような形で実施するのか、現在の検討状況はどうか。

答弁要旨

本市では、聖火リレーの当日、到着地の尼崎城址公園において、聖火ランナーを迎えるイベントやセレモニーの開催を予定しております。

また、聖火リレーの実施に合わせ、観光部局などと連携したイベントができないか検討するとともに、様々な団体による関連イベントを把握するなど、全市一体となってオリンピックイヤーを盛り上げることができるよう、積極的に取り組んでまいります。

以上

質問要旨 保育士就職フェアの参加法人数及び保育所数かどうか。また来場者の状況や、参加法人からの感想、意見、保育士採用への効果はどうか。

答弁要旨

今回の保育士就職フェアにつきましては、来春卒業予定の学生のみならず、いわゆる潜在的保育士等も対象に開催し、参加法人は44法人で、運営する保育園43園、認定こども園8園、小規模保育事業所16所で、計67園に参加して頂きました。

当日の来場者数は31人で、学生だけではなく、現在、保育施設等に勤務中、あるいはかつて勤務していたが現在無職の方、更にはこれから保育士を目指す高校生の来場もあり、複数の法人を回って熱心に話を聞いておられました。

(次ページへ続く)

また、参加した法人からは、ハローワーク尼崎の相談ブースが設置され、すぐに就職に関する相談が可能であったこと、来場者が希望する保育園を見学することまで話が及んだことや、具体的な採用試験日のお尋ねがあったこと、自宅から自分の子のお迎え、通勤経路を想定した、最寄りの園の説明を受けたいなど、早期就職につながる内容であったとの意見をいただきました。

一方、ターミナルなど、より利便性の高い場所を実施し、来場者を増やして欲しいという要望もあったところであり、これらについては次年度に向けた課題として検討して参ります。

以上

辻議員 2001・2002 作成部局 経済環境局 No.1
質問要旨 野焼きについて最近5カ年の苦情やその対応
は。また、農業者が行う野焼きについて市の見解は。

答弁要旨

農業者が行う野焼きの苦情及び相談の件数につきましては、^{いずれも近隣住民からですが}最近5年においても、毎年6件から10件で推移しております。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律では、野焼きは原則禁止されていますが、例外のひとつとして農業者が農業を営むためにやむを得ないものとして行われる場合は認められています。ただし、その「やむを得ないもの」に該当するかどうかは、環境省の回答のとおり、法の目的である生活環境の保全等を踏まえた個別の判断が必要になると考えています。

そのため、苦情や相談に対しましては、生活環境に与える影響や地域の特性を鑑み、従前から、現地確認のうえ個別に判断し対応しているものでございます。

以上

質問要旨 農業者から廃棄物の処理に関して、市が相談を受けた事例はどのようなものがあるのか。また、農業者の廃棄物処理についてサポートすることに対する市の考えはどうか。

答弁要旨

農業者から廃棄物の処理に関して相談を受けた事例は把握しておりませんが、平成29年度に実施したアンケートでは、農業を続けていく上での問題点として、「わらや草を燃やしにくい」とのご意見を頂いております。

今後、農業者から具体的な相談がありましたら、サポートの必要性等について検討して参ります。

以上

質問要旨 生活道路も含めた無電柱化の具体的な推進方針や計画策定を検討すべきであるが、本市の見解は。

答弁要旨

電線類の地中化については、本市では、防災機能の強化や安全で安心な歩行者・自転車の通行空間の確保を目的とし、まずは、緊急輸送道路や避難路、駅周辺の幹線道路を中心に街路事業や区画整理事業によって整備している状況であります。また、これらの整備にはコスト的にも多くの費用がかかっているのが実情であります。

そのため、生活道路につきましては、これまで幹線道路で行ってきた手法による無電柱化は現時点では考えておりませんが、現在、電線を地中に埋設する簡便な手法や費用縮減の方策について、国と電線管理者との間で検討が進められておりますので、今後はそうした動向に注視してまいりたいと考えております。

以上